

内部選考を行う奨学金について(第4回)

掲 載 日:2022年3月28日(月) ~ 申込締切日:2022年4月11日(月)必着

申 込 先:東京大学本部奨学厚生課民間奨学金担当 ※必要書類は郵送でご提出ください。

奨学会名	出願条件等 ※特別な指定がない限り、学年は2022年4月1日時点のもの。	他奨学金との重複	奨学金月額		推薦人数
公益財団法人 北野生涯教育振興 会 (ライフシフト奨学金)	<p> <課 程> 修士 (専門職課程も含む) <研究科> 不問 <学 年> 修士1年 <国籍等> 日本国籍を有する者。 <その他> (1) <u>社会人として就労経験が通算3年以上ある、2022年4月1日において45歳以下の者。</u> (2) 心身ともに優れている者。 (3) 給与収入世帯の場合: 世帯合計収入1000万円未満 給与収入以外の世帯: 自営業などその他収入500万円未満 (4) 年1回の奨学生交流会へ必ず参加できる者 </p> <p> ※本奨学金は、現時点で社会人として就労している方、もしくは過去に一定期間、就労していた実績がある方が対象です。企業、団体、機関、国または地方自治体などへの就労期間が3年以上、個人事業主として3年以上の実績がある方を対象としています。(いずれも通算可) </p> <p> ※内部選考に通過した場合、財団への出願書類として指導教員による推薦書(A4一枚)の提出が必要です。 ※学部2年生向けに同内容の募集を行います。詳細は教養学部の民間奨学金担当へお問い合わせください。 https://www.c.u-tokyo.ac.jp/campuslife/scholarship/koekihojin/index.html </p> <p> ※内部選考結果は4月22日(金)までに通知します。 </p> <p> <支給期間> 修士課程の2年間 (奨学生修了者が博士課程に進学する場合、審査を経て博士課程への延長申請可能(通算5年)) </p>	不可 ※但し、日本学生支援機構および大学独自の奨学金、授業料免除制度との併給は可能。	給付	60,000円	1

<p>公益財団法人 G-7奨学財団</p>	<p>〈課程〉学部、修士、博士、専門職 〈学部/研究科〉不問 〈学年〉学部学生は3年生以上、大学院学生は学年不問 〈国籍等〉日本国籍を有する者。 〈その他〉(1) 学業優秀(GPA3.1以上を目安とする)で、心身ともに健康であり、将来社会的に有益な活動を目指す者。 (2) 学資の援助が必要であると認められる者。</p> <p>※半年毎に生活状況や奨学金使用状況の報告義務あり。 ※半年毎に成績証明書や在学証明書の提出義務あり。 ※財団が出席を求める各種行事(新旧奨学生交流会)への参加義務あり。 ※財団にて書類選考後、面接選考を予定。面接選考の交通費は申請者負担です。 面接概要(WEB/対面の別、実施場所)は財団から開示されていません。(参考:財団住所は兵庫県神戸市です。) ※申請者となった場合、申請者の個人情報には以下の目的に利用されます。 ・奨学金助成事業の審査及び審査に係る事務連絡、通知等 ・審査後、採択後の事務連絡 ・財団が開催するセミナー等の案内、及び財団が実施する助成事業の募集案内の連絡</p> <p>〈支給期間〉2022年4月～2023年3月(財団の募集要項より原文のまま抜粋) 翌年度以降、年度開始の時点において、当初選考時基準と同等の学力基準及び家計基準を引き続き満たす場合も、在学期間中に限り、標準修業年限を上限に、審査は単年度ごとに実施します。継続して助成を希望される場合、再度申請書を提出していただきます。なお翌年度以降の助成条件は変更になる可能性があります)</p> <p>※2022年度の4月～3月の1年間を通じて、東京大学に確実に在学していることが申請条件です。 <u>休学、退学、留学、留年等の学籍異動を予定されている学生は申請をご遠慮ください。</u> <u>秋入学者は申請いただけません。</u> ※内部選考に通過した場合、出願書類を1週間程度で作成していただきます。</p>	<p>可</p> <p>※修学支援新制度の給付奨学金・授業料減免ともに併給可</p> <p>※日本学術振興会特別研究員採用者の応募可</p>	<p>給付</p>	<p>最大 100,000円</p> <p>※申請書類の内容により半額以下に減額となる可能性あり。</p>	<p>若干名</p>
<p>公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団 (日清食品・安藤百福Scholarship)</p>	<p>〈課程〉修士、博士 〈学年〉不問 〈研究科〉不問 〈国籍等〉日本国籍を有する者。 〈分野〉<u>食科学に関連する研究を行う者。</u> 〈その他〉(1) 学業、人物ともに優秀かつ健康で、学資等の経済的支援を必要としている者。 (2) 就学及び生活状況を財団に毎月報告、年度末に財団指定の書類提出ができる者。 (3) 留学予定者は応募不可。</p> <p>※内部選考に通過した場合、出願書類を1週間程度で作成していただきます。財団への出願書類として指導教員による推薦書(A4一枚)の提出が必要です。</p> <p>〈支給期間〉2022年4月～2023年3月の1年間 (6月末に7月分まで支給、以降毎月末に翌月分を振込)</p>	<p>可</p> <p>※日本学術振興会特別研究員採用者の申請可。</p>	<p>給付</p>	<p>年額 100万円</p>	<p>4</p>

<p>公益財団法人 住友電工グループ 社会貢献基金</p>	<p>〈課程〉 修士(専門職を除く) 〈研究科〉 理工系の研究科 〈学年〉 1年 〈国籍等〉 日本国籍の者、特別永住者、永住者、定住者、日本人の配偶者(外国籍)、永住者の配偶者(外国籍) いずれも可。 〈その他〉 学業、人物ともに優れながら経済的理由により援助が必要と認められる者。</p> <p>※内部選考に通過した場合、出願書類を1週間程度で作成していただきます。研究計画書(A4一、二枚)、指導教員による推薦書(A4半分程度)が必要です。 ※内部選考を通過し大学から推薦した方は、2022年5月以降に財団による面接選考あり。 ※奨学金給付中、研究内容の報告会や交流会等実施予定あり。</p> <p>〈支給期間〉 2022年4月～2024年3月までの2年間(但し、2024年3月以前に修士課程修了の場合は～修了月まで)</p>	<p>可</p> <p>※他奨学金との併用不可の奨学金に出願している者は応募不可。</p> <p>※月額給付型奨学金総額は10万円以下とする。</p>	<p>給付</p>	<p>30,000円</p>	<p>1</p>
---------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------	-----------	----------------	----------